

お問い合わせ

管理ソフト UsbManege「お問い合わせ」タブから、どんどん質問しよう



この画面から質問すると早く解答できるよ

お問い合わせタブで送信される内容
ご質問内容、お名前、メールアドレス、ご利用 USB 製品名、製品バージョン、USB の保護設定情報、管理者 PC の Windows バージョン、添付ファイル
※この情報は UsbSetting.txt にも含まれます。(下記参照)

管理ソフト UsbManage が利用できない場合
support@abroad-sys.com 平日 10:00-18:00

※USB 製品の電話サポートはありません。



「お問い合わせ」タブが使えない

企業でご利用の場合、お使いのセキュリティソフトで送信が抑制される場合があります。この場合、現在の USB 設定情報を伝えるには管理ソフトの「製品情報」タブにある「設定レポート」をクリックすると UsbSetting.txt が保存できます。メール添付でお送り下さい。



直ぐに回答

※製品によって動作が違う為、ご利用製品名やバージョンが不明の場合、確認してからのお回答になりお返事が遅れます。ご質問は“お問い合わせ”タブまたは UsbSetting.txt を添付して下さい。

転ばぬ先のバックアップ

利用者にバックアップを行うように案内する

USB のバックアップ機能は、破損に備えて USB メモリの全体イメージを C ドライブに完全保存します。バックアップ後に高圧縮されますが、一時的に USB と同じ容量の作業エリアが必要です。



完全復活

バックアップがあると問題があった場合、利用者様側で完全に復活させる事ができます。利用開始前にバックアップをとられる事を推奨しています。

バックアップデータ (.ubr) は、C:\～\Documet\UsbSetting フォルダに毎回上書きで作られます。※.ubr は移動できますが復元するときは元位置に戻して下さい。

USB の修理

バックアップは USB 個体ごとに管理されています。他の個体 USB にはバックアップの復元はできません。物理的な破損の場合は、バックアップデータと破損した USB を製品サポートに送ると修理可能です。※バックアップデータがないとコンテンツ提供者様からの支援がないと修理ができない場合があります。※詳しくは USB 製品サポート support@abroad-sys.com にお問い合わせ下さい。



よくあるご質問と対応方法

あれ？空き容量が無い

Windows 専用のコンテンツガードシリーズ、ハイパープラスは 1 本の USB メモリの中に 2 つの領域があります。

最初に USB メモリをパソコンで確認すると空き容量がわずかです。実際に利用する為には付属の UsbStart を実行して領域を切り替えて下さい。設定には順番があります。裏面や PDF マニュアルもご参照下さい。

非保護領域：最初に表示されている領域（空き容量は少ない）

保護領域：コピーガードがかかる領域（容量が多い）

サポート OS: Windows 10/11

古い Windows (XP/Vista/7/8/10(32)) でも動作しますがマイクロソフト社のサポートが終了している OS は USB サポートも対象外になります。

※Windows Update 適用中または再起動が必要な場合、USB 利用ができなくなっている場合があります。更新確認後、最後まで適用し再起動をして下さい。

コンテンツガードシリーズでよくある失敗

先に設定を行ってしまい、コンテンツを追加できなくなった

一旦、コピー禁止、書き込み禁止などの保護を解除してコンテンツを入れてから再設定をします。

わからないので全部の禁止を設定した（ダメ！）

不要な設定は悪影響があります。例えば、動画に印刷禁止は必要ありません。USB で印刷禁止にすると USB を使っている間は全ての印刷が出来なくなります。汎用的な使い方を想定されている場合は、ハイパーコンテンツガードをご利用下さい。

USB のファイルが壊れて読めなくなった

USB を取り外す時は操作が必要です。バックアップ機能があります。はじめてコンテンツ入りの USB を使う場合、万が一の破損に備えて、ご利用される方は利用開始前に 1 度だけバックアップを取りましょう。



コピーガードを使う理由

私は絶対コピーしない

デジタル情報のコピーは簡単です。閲覧はできてコピーができないという製品がコピーガード USB メモリです。保護措置を回避してまでの複製は著作権法では禁止されています。コピーガードを行う事により技術的、法的に著作権者の権利を守ります。



私はデジタル製品を共同購入したり、絶対にコピーしてからネット販売なんかしません。違法と知っていますから

その 1. 機会損失の防止

機会損失とは本来は得られるであろう利益を失う事

例えば会社で 1 つ購入して全社員、全営業拠点でコピーし使われる。コピーされ海賊版として販売される。使い終わったものをメルカリやヤフオク等で転売される。正規価格より安く販売されていますので機会損失は大きなものです。

その 2. 情報漏えい

デジタル情報の利点はコピーができるという事です。情報漏えいの観点から見るとデメリットです。大量の書類コピーや持ち出しは発覚しやすいですがデジタルコピーは見つける事が難しく、大量データの持ち出しが可能です。限定された人が使う情報はコピーガードを設定すると一定の保護ができます。パスワードを設定して部外者の閲覧を禁止し、コピーガードではパスワードを知っている正規利用者でもコピーができません。

その 3. 転売防止

ハイパーコンテンツガード (HC/HP) には情報商材には便利な転売を抑制できる“利用 PC 台数の設定”があります。

なんで？開かないファイル

・許可ソフトウェアの設定がされていない。

本 USB メモリは USB へアクセスできるソフトを限定する機能があります。この設定がされていないと利用ソフトによって USB へのアクセスができません。製品で HC/HP は「USB へアクセスするソフトを限定しない」（初期値）という機能があります。DC はこの機能はありません。利用したソフトが“許可ソフトウェア”に登録されていない場合エラーになります。

・2 重暗号化になっている

「起動設定」タブに暗号化（初期値 ON）設定があります。暗号化が ON になっている場合、保存したファイルは暗号化されます。

USB の暗号化が ON (初期値) の状態でパスワード付の PDF や暗号化キーなど既に暗号化されているファイルを保存すると 2 重に暗号化になってしまい開けなくなります。この場合は USB の暗号化を OFF にしてから再度コンテンツを入れ直して下さい。

※USB 暗号化は未知のコピー方法に対応するもので保護を強化するものです。OFF でも一定の保護はかかります。必須設定ではありません。

設定ウィザード（簡易設定ボタン）

許可ソフトの推奨設定

“簡易設定”では保存するファイル形式を選択すると推奨設定が設定されます。この後、細かい設定を調整して下さい。例えば PDF を選択した場合、印刷は禁止されますが各詳細タブで許可する事もできます。



ファイル形式別の製品対応

製品種別 (※)	DC	HC	HP	CB
動画 mp4	◎	◎	◎	◎
画像 jpg/png	◎	◎	◎	◎
音声 mp3	◎	◎	◎	◎
PDF	◎	◎	◎	○
Excel	×	◎	◎	×
PPT (PPSX)	◎	◎	◎	×
ソフト	×	◎	◎	×
CAD	×	◎	◎	×
Windows	○	○	○	◎
Mac	×	×	×	◎
Android	×	×	×	◎
iOS	×	×	×	◎
Format	Fat32	Fat32	exFAT	Fat32

・DC/HC/HP は Windows の管理者実行権限が必要です。利用制限が設定されているパソコンでは、事前に管理者権限で付属の UsbQickStart のセットアップが必要です。
クローンブロッカーは管理者権限は不要です。（自動起動設定除く）
・Fat32 は 1 ファイル 4GB 以内という制限があります。
・DC は動画 / PDF 等、データ形式の読み込み専用です。

(※) 製品種別 DC / HC / HP / CB
DC: DataContentsGuard HC: HyperContesntsGuard HP: HyperPlus
CB: Clone Blocker

トラブルを防ぐポイント

“USB 安全な取り外し”操作が必要

書き込みを行った USB メモリは、必ず安全な取り外し操作をご案内下さい。書き込み途中に抜くとインデックスデータが不完全になり全ファイルが読めなくなる場合があります。「安全に取り外せます」のメッセージを確認してから USB を抜いて下さい。

利用者に初回バックアップ実施を案内して下さい。

本 USB メモリはコピーガード機能の為、他のソフトでバックアップできません。setup フォルダ内の UsbSetting でバックアップができます。データの破損があった場合でも USB メモリ全てのイメージ情報がバックアップされていますので完全に復元ができます。トラブルがあった場合、利用者様側で回復ができます。

トラブル回復、サポート軽減

利用前バックアップ推奨
●全ての情報を完全バックアップ
●4GB メモリで 5 分程度
大きな容量の USB の場合、PC 側の容量にご注意下さい。
●最終的に圧縮されますが一時的に記憶容量分の作業領域が必要
●何度でも実施できます。
最後のバックアップに毎回上書きされます。バックアップデータ (.ubr) は移動できますが復元するときには元位置に戻して下さい。
●他の USB 個体に復元できません。
ご利用 PC で開始前 1 回のみで OK

バックアップ操作 / setup / UsbSetting_Manual.pdf
USB 保守ソフト UsbSetting は付属する事を推奨（削除は可能）
制限アカウントでの利用は / setup / UsbQuickStart.exe が必要（削除非推奨）

ご利用上の注意／免責事項

ご利用の注意事項

●USB はいきなり抜かないで下さい。書き込み中に USB を抜くとタイミングによりファイルが読み取れなくなる場合があります。
●付属ソフトでバックアップを行って下さい。
●静電気で内部の電子部品が破損する事があります。乾燥時期にはご注意ください。●耐水性はありません。水没した場合は時間をかけて内部まで完全乾燥させて下さい。●フォーマットは行わないで下さい。多くのトラブルはフォーマットでは回復せずに逆に修復が難しくなります。必要と思われた場合は製品サポートへご相談下さい。
●フォーマット規格 FAT32 の制限で 1 ファイル 4GB 以上は保存ができません。（ハイパープラス exFAT を除く）●データ保持期間、書き込み回数に制限があります。●解析や分解を行わないで下さい。
●製品保障 1 年、無料修理または同等品との交換、データは保障されません。

免責事項

●交換または修理の場合、バックアップデータがない場合、コンテンツは初期化されます。●バージョンアップなどにより仕様や製品機能が変わる事があります。●PC 側 USB 接続規格により互換性の問題で動作ができない場合があります。●保証期間（1 年）を超えた場合の修理は有料になります。●コピーガード製品はコンテンツを保護するように高度な技術が使われていますが全ての環境で絶対にコピーができない事を保障している製品ではありません。セキュリティホールが見つかった場合はバージョンアップまたは自動更新で配布されます。